

「かき氷」を食べたり、親水公園で遊んだりと充実した3日間でした！



8月30日(木)は、全園児が「かき氷」を食べて暑さを吹き飛ばしました。

この日は10時30分から「わんぱく広場」が開催されました。38組の親子が集まり、「お祭りごっこ」をしました。くじ引きをしたりお面づくりをしたりして楽しんでいましたが、暑かったため、何といても「かき氷」コーナーが一番人気でした。

機械に氷をセットし、慣れた手つきでかき氷を作ってくれたのは、ポップーンの時も大活躍だった舘野幸子先生。遊戯室の一角で、汗だくになりながら、手際よく「かき氷」を作ってくれました。

11時20分に「わんぱく広場」が終わり、いよいよ在園児の番です。先生方が用意したカップに幸子先生がかき氷を入れていきます。シロップは「イチゴかブルーハワイ」です。お部屋まで運ばれたかき氷をみんなで楽しくいただきました。



31日(金)は、年少組と年長組が上三川町にある「夢沼親水公園」へ行きました。10時ごろからお部屋の中で水着に着替えたり、タオルや水筒、履いていくサンダルなどを確認したりしました。

園バスに乗り込み出発です。園バスでのお出かけ、年少組も年長組もバスの中では大はしゃぎだったようです。

駐車場に着き、そこから公園まで歩きました。この日も猛暑日。少し歩くだけで汗が噴き出てきそうです。木陰に荷物を置いたら自由行動の始まりです。小川の中に入り水を掛け合ったり、ポンプになっている浮き島に乗りジャンプを繰り返したりと実に楽しそうです。しかし何といても大活躍だったのは「有加先生」。子どもたちと一緒に小川に入り、水のかけあいです。初めは年少組の子だけでしたが、次第に年長組の子も参加するようになりました。そのため、10人以上の子どもたちから水をかけられ立ち往生してしまう場面も。でもすぐに逆襲し、大人の力を見せつけます。幸子先生や清美先生、佳那先生も水の中にある遊具（乗ると水が噴き出す）で年少組の相手をしています。1時間程度でしたが、公園内に第二幼稚園の園児たちの歓声が響き渡っていました。最後にクラスごとに記念写真を撮り帰園しました。

9月3日(月)から「新しい出来事がいっぱい待っている」2学期が始まります。1学期以上に「みんなで仲良く、元気いっぱい」に過ごすことを期待しています。

【写真】上3枚=年長組の様子。水の中に入ったとたん「気持ちいい」の一言。

○4枚目・5枚目=年少組の様子。表情がとても豊かです。先生方に手伝ってもらい、水が飛び出すカエルの上に。「3人は乗れるよ」
○一番下左=有加先生めがけて、みんなで水をかけています。でも、この後反撃が待っていました。「逃げまどう子どもたち」でした。
○広々とした公園内にある人口の小川。暑い夏、子どもたちを遊ばせるのに絶好の場所！

